

保証とアフターサービス

【保証書】

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

【補修用性能部品の最低供給年限】

この製品の補修用性能部品の最低供給年限は製造終了後1年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

【ご不明な点に関するご相談】

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

【修理を依頼される場合】

「故障かな?と思ったら」にしたがってお確かめいただき、なお問題が解決しない時は、電源を切り、販売店にご連絡ください。

【保証期間中は】

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

【保証期間が過ぎている時は】

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。販売店にご相談ください。

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

品名	リプライコール		
無料修理保証期間	1 年	お 買 い 上 げ 日	年 月 日
お 客 様	住所 〒		
	TEL		
	氏名		
販売店名			
印			

ReplyCall

リプライコール

取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いいただきますようお願い致します。



INDEX

安全上のご注意	P1
はじめに	P3
ご利用の前に	P5
基本操作	P7
便利な使い方	P9
送信機の機能を設定する	P13
受信機の機能を設定する	P21
お手入れ方法	P28
故障かな?と思ったら	P28
仕様	P29
保証とアフターサービス	P30

安全上のご注意

※ご使用の前に、「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
※ここで示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人々への危害、損害を未然に防止する為のものです。
注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多様な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	●この記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。
	●記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

警告

	●お手入れの前には、電源プラグを抜いてください。(感電のおそれがあります。)
	●コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。(感電やショートして発火することがあります。) ●コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。(感電やショートして発火することがあります。)
	●製品に水や洗剤をかけないでください。 ●水のかかるところや、湿気の多い場所には設置しないでください。(火災や感電のおそれがあります。)
	●修理技術者以外の方は、分解したり、修理・改造は行わないでください。(火災や感電のおそれがあります。)

	●コードを乱暴に扱わないでください。
	●電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭いてから使用してください。(火災や感電のおそれがあります。)
	●煙が出たり、変な臭いや音がするときは、使うのをやめ、電源プラグを抜いてください。(火災や感電のおそれがあります。) ●内部に水や異物などが入ったときや外装ケースが破損したときは、使うのをやめ、電源プラグを抜いてください。(火災や感電のおそれがあります。)
	●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。(感電の原因となります。)

注意

	●電源コードを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜いてください。(感電やショートして発火することがあります。)
	●不安定な場所や火気の近くでは使用しないでください。(変形・故障の原因となります。)
	●送信機の乾電池は極性に注意して表示通りに入れてください。また新しい乾電池と古い乾電池、種類の異なる電池を混ぜて入れないでください。(乾電池の液漏れ・故障の原因となります。)
	●乾電池は充電しないでください。(乾電池の液漏れ・故障の原因となります。)
	●長期間、ご使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。(火災の原因となります。)
	●雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないでください。(火災や感電のおそれがあります。)
	●強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。 ●通気孔をふさがないでください。(火災や故障の原因となります。)
	●磁気を帯びたものを近づけないでください。(故障の原因となります。)
	●本製品は防水ではありません。水に濡れないようできるだけご注意ください。万一濡れてしまった場合には、乾いた布で速やかに拭き取ってください。

※本商品は報知および連絡用です。生命救済、犯罪防止を目的にした機器ではありません。
※使用場所により、電波の届く距離が短くなる場合があります。

はじめに

待ち時間を、もっともっと快適に過ごしていただくこそが満足度アップの決め手。だから、リプライコール。

トラブルが最小限! だから納得! **受信確認機能**

送信機から送信した信号を受信機がキャッチすると、自動で受信確認信号を送信機へ返信(受信確認機能)します。送信機側でも信号が届いていることを確認できるため、安心して業務が行えます。また不要なトラブルもなくなります。

お客様は自由に移動可能! だから快適! **「圏外」お知らせ機能**

受信機が「圏外」になった場合には、異常音とバイブレーション、圏外表示でしっかりとお知らせ。お客様は送信機からの信号が届くエリアを把握できるようになるため、待ち時間の間を、安心して過ごすことができます。

使用場所を選ばない! だから便利!

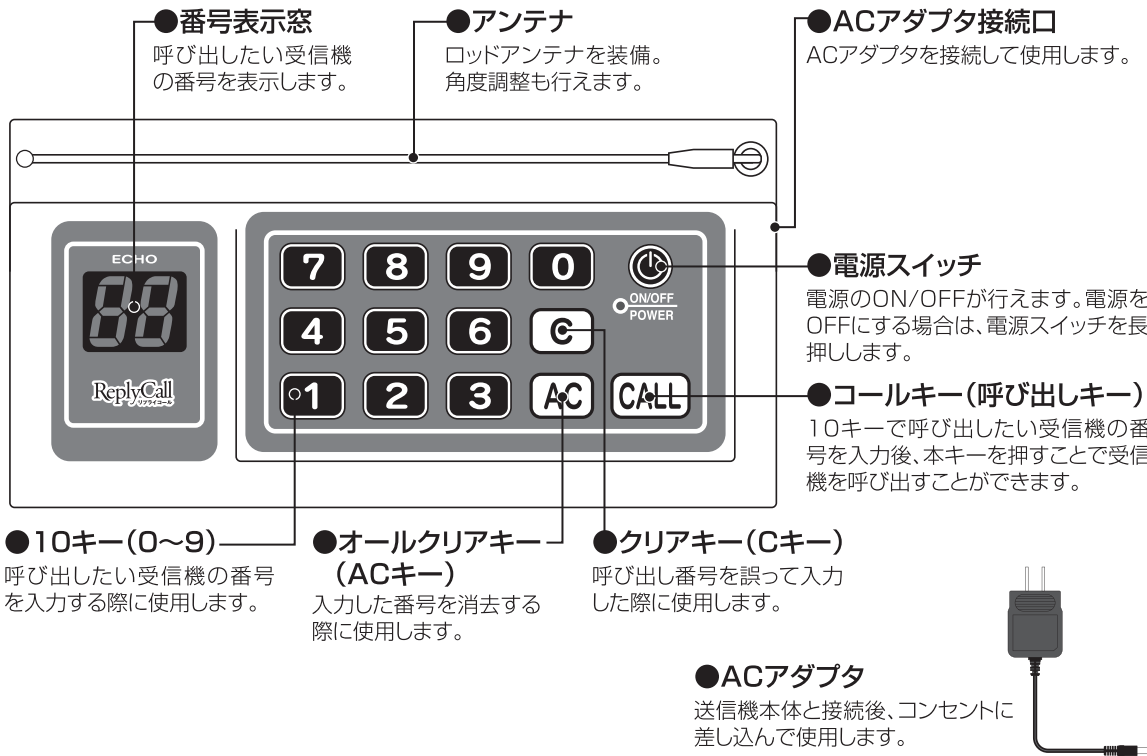
送信機は、AC電源はもちろん、電池での駆動にも対応。アウトドアでのイベントや、AC電源の確保が難しい場所などでも利用することができます。

広い敷地でもOK! だから安心! **特定小電力タイプ**

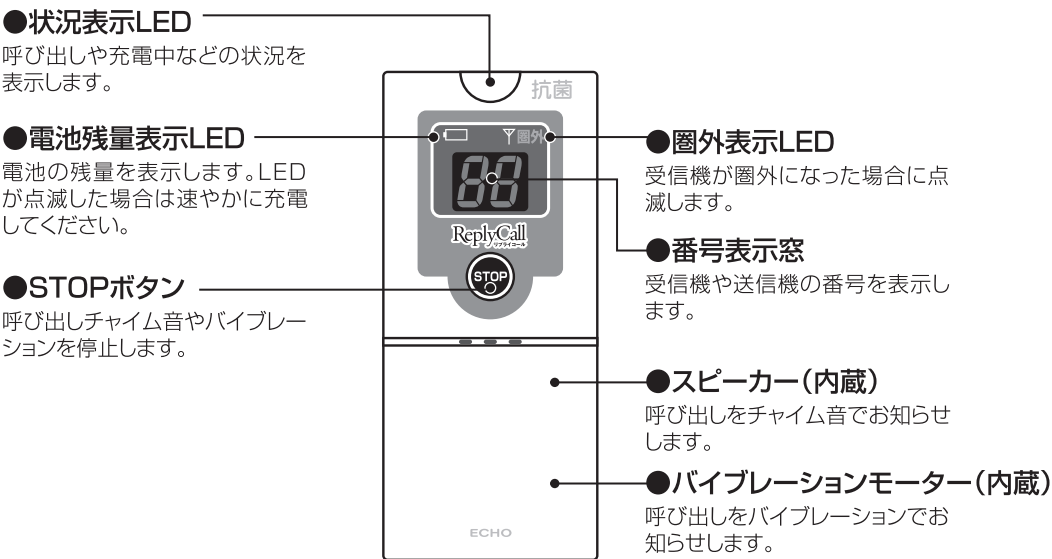
通信方式に特定小電力無線を採用。これまでの一般的なシステムよりも、通信距離が大幅に長くなっています(見通し約100m)。そのため広い敷地の施設でも安心してご利用OK! また中継機(オプション)の活用で通信可能距離はさらに広がります。

各部の名称/機能

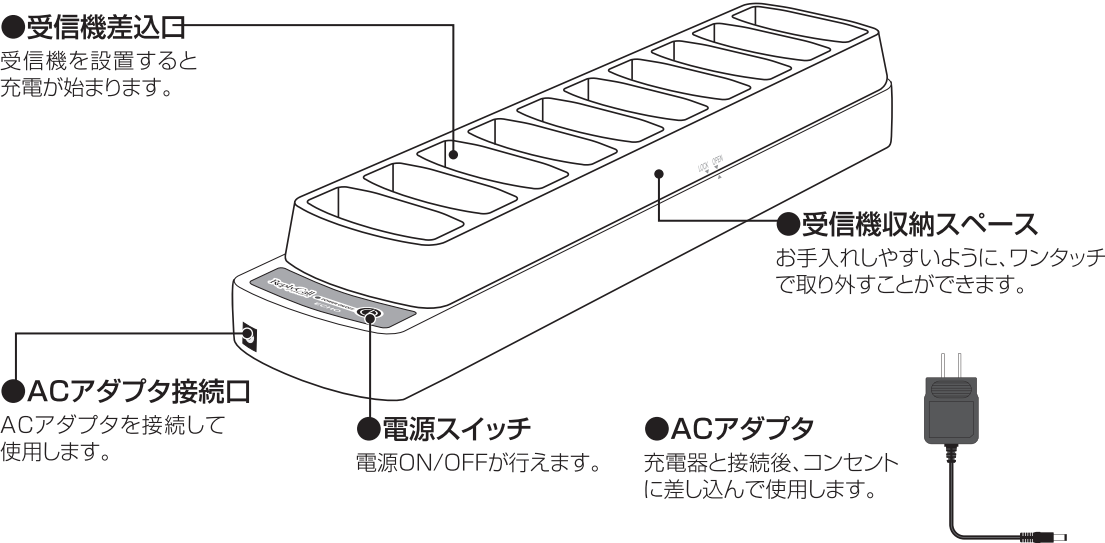
送信機



受信機



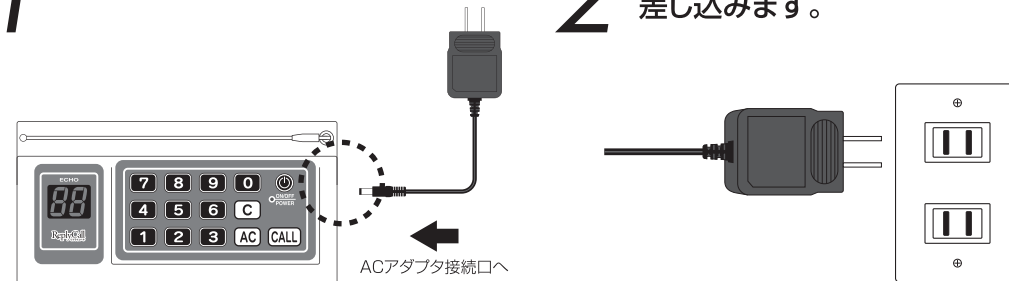
充電器



ご利用の前に

送信機をセットする

- 1 送信機にACアダプタを接続します。
- 2 ACアダプタをコンセントに差し込みます。



- 3 自動的に電源がONになります。
この時番号表示窓には



が順番に表示されます。

その後
番号表示窓の下側LEDが点灯します。
また圏外表示機能を有効にしている場合 (出荷時設定) には、表示窓の右下にドットランプが点滅 (約10秒間隔) します。
10秒毎に県内確認送信を自動でしています。(受信タイムアウト延長を有効にした場合は20秒毎)



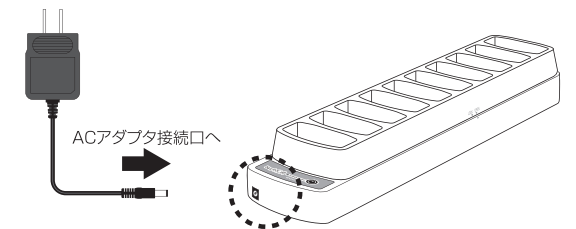
※送信機ファームウェア番号は、将来のバージョンアップの際に確認用として使用するものです。通常のご使用時には特に意識していただく必要はありません。
※ファームウェア番号表示やチャンネル番号表示、送信機番号表示は初回電源投入時および各種設定変更時にのみ表示されます。

- 4 受信機番号を入力すると、送信待機状態になります
受信機の準備が整っていれば、テンキーから受信機番号を入力して送信することで、指定の受信機を呼び出すことができます。

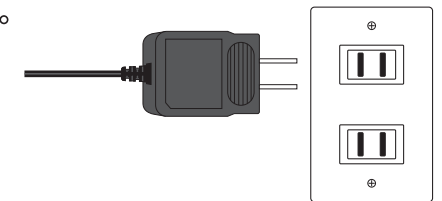
詳しくはP.7

受信機を充電する

- 1 充電器にACアダプタを接続します。



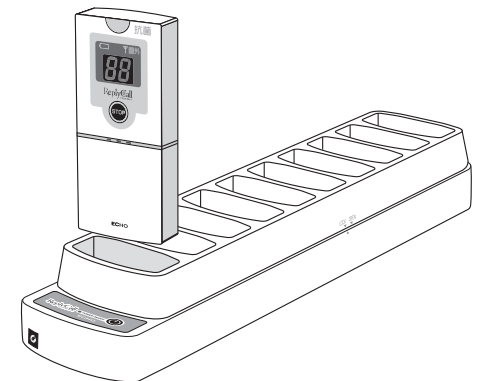
- 2 ACアダプタをコンセントに差し込みます。



- 3 電源スイッチを押します。
これで充電器の準備は完了です。



- 4 受信機を受信機差込口にセットします。
セットすると自動的に充電が始まります。
フル充電には約6時間必要です。



- 充電中は状況表示LEDが緑色に点灯します。
- バッテリー残量が少なくなると、電池残量表示LEDが点滅します。その場合には速やかに充電してください。また電池残量が十分でないと誤作動する恐れがあります。
- 満充電数分前に状況表示LEDがゆっくり点滅し、その後消灯します。

ご注意

- 充電器は約5秒以内の瞬間停電には復帰対応します。しかし停電時間が、それ以上の場合は電源OFFとなります。
- 送信機・受信機・充電器を高温／低温の場所での設置またはご使用は避けてください。動作不良や誤動作する原因になります。
使用温度範囲約5℃～45℃ (中継器を含む)

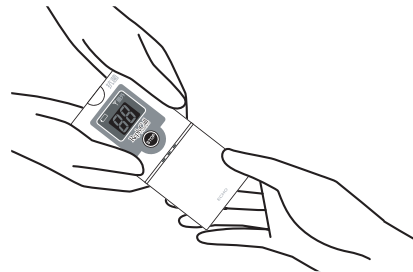
基本操作

呼び出しの一連の流れ

ここでは例として受信機番号17番の受信機を呼び出します。

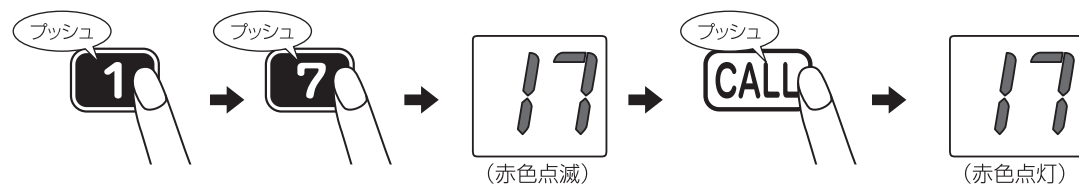
1 受信機をお客様へお渡しします。

充電器にセットされていた受信機を取り出し、お客様にお渡しします。
充電器から受信機を取り出すと、チャイム音が1回再生され、バイブレーションが2回作動し、自動的に待受状態となります。



2 呼び出し番号を入力します。

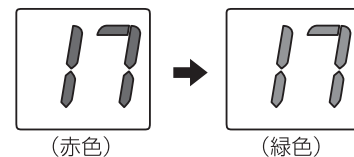
送信機の10キーを使用して、受信機の番号を入力します。呼び出したい受信機の番号が番号表示窓に赤色点滅表示されますので、番号が正しければ続いてコールボタンを押して受信機を呼び出します。コールボタンを押すと番号窓の表示は赤色点灯表示になります。



3 受信機からの確認信号を表示します。

呼び出しが受信機に正しく伝わると、受信機から送信機へ確認信号が自動的に届きます。この時番号表示窓に表示されている番号の表示色が赤色から緑色へ変化します。

※受信機から確認信号が届かない場合についてはP.8をご覧ください。

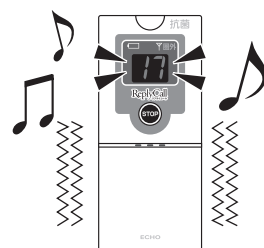


POINT

番号表示窓の番号表示色が緑色になれば、同様の操作で別の受信機を呼び出すことができます。

4 呼び出しを確認します(受信機側)。

送信機からの呼び出し信号を受信すると、番号表示窓に受信機の番号を点滅表示します。同時に「状況表示LED点滅・チャイム音再生・バイブレーション作動」という呼び出し動作がはじまります。



POINT

動作を停止させてから受信機番号点灯中にSTOPボタンを2回早押しで呼び出された送信機の番号を5秒間表示します。

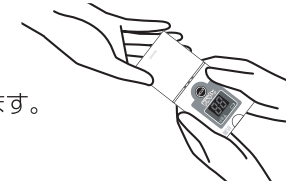
5 呼び出し表示を停止します(受信機側)。

受信機のSTOPボタンを押すと呼び出し表示は停止します。停止後5秒で表示は消えます。



6 受信機を受け取ります。

お客様から受信機を受け取ります。受け取った受信機は充電器で充電します。



POINT

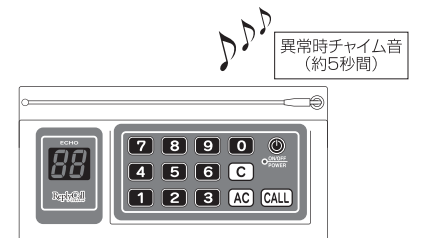
受信機に採用している電池は新型ニッケル水素電池です。メモリ効果が少ないため、安心して継ぎ足し充電してご利用いただけます。

受信機が圏外にある時のご注意

圏外時: 送信機の動作

受信機が圏外にある時(約3秒確認信号が届かない時)は、呼び出し失敗となり、異常音が約5秒間再生されます。

・異常音再生中は10キーおよびクリアキーなどからの操作を行うことができません。異常音再生終了後、操作ができるようになります。(コールキー・ACキーは有効)



POINT

異常音再生終了後、コールキーを押すことで、10キーから番号を改めて入力しなくても直前に呼び出した受信機をもう一度呼び出せます。

圏外時: 受信機の動作

圏外表示LEDが点滅し、同時にバイブレーション+異常音が再生されます(約5秒間)。圏内確認信号を受信するまで圏外表示LEDは点滅を続けます。



受信機のSTOPボタンを押さない時の動作について

信号受信時にSTOPボタンを押さない場合は、約10秒間「チャイム音再生・バイブレーション作動」→約10秒間停止→約10秒間「チャイム音再生・バイブレーション作動」を繰り返します。状況表示LEDと番号表示窓に表示された番号は、STOPボタンを押すまで連続点滅します。

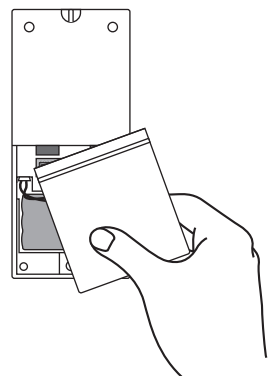


便利な使い方

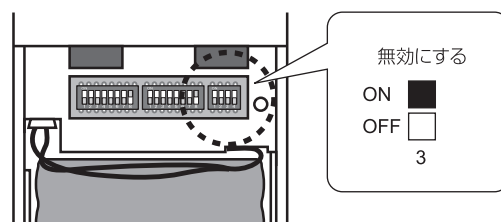
送信機番号を受信機の番号表示窓に表示する

工場出荷時の設定では、受信機の番号表示窓には受信機番号が表示されるように設定されていますが、この表示を送信機の番号に変更することが可能です。(P27参照)

- 1 ビスを外して受信機の裏板を外します。

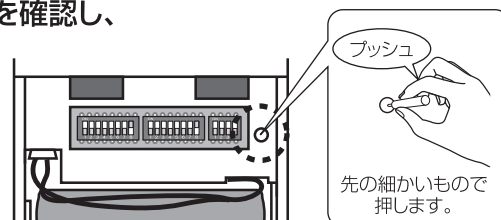


- 2 ディップスイッチ(SW3-3)を変更して受信機番号表示をOFFにします



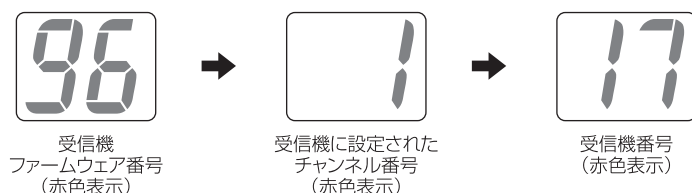
- 3 希望する設定にスイッチが設定されたことを確認し、リセットボタンを押して設定を登録します。

※変更した設定を有効にするために必ずリセットボタンを押してください。



POINT

設定を変更しリセットボタンを押すと受信機の番号表示窓には



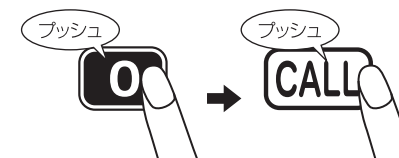
が順番に表示されます。

※受信機ファームウェア番号は、将来のバージョンアップの際に確認用として使用するものです。通常のご使用時には特に意識していただく必要はありません。

すべての受信機を一齐に呼び出す

1回の操作で受信機を一齐に呼び出すことができます。受信機を社内スタッフとの連絡用等に使用している場合には、かんたんに全受信機を呼び出せるため大変便利です。

- 1 10キーから「0」を入力しCALLキーを押す



- 2 「00」赤色点灯表示

番号表示窓の表示が「00」赤色点灯表示となり一齐呼び出しが行われます。



(赤色点灯表示)

POINT

一齐呼び出しの場合は、「受信確認表示機能」は動作しません。
コール後5秒で  表示に戻ります。
充電中の受信機は反応しません。

送信機呼び出し履歴を確認する

受信機は呼び出した送信機の番号を5件までメモリ内に記録しています。複数の送信機を使用している環境で、呼び出された順に対応することが可能になります。

●送信機番号表示設定時のみ有効

- 1 STOPボタンを2回早押しします。



- 2 最後に呼び出された送信機番号が点滅表示されます。



(点滅表示)

- 3 点滅表示中にSTOPボタンを押すと、呼び出された送信機番号を5件まで履歴表示します。STOPボタンを長押しすることで番号表示をOFFにできます。



ご注意

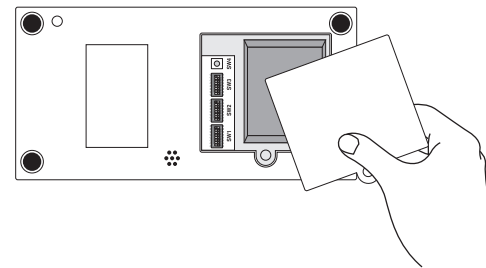
記録した呼び出し情報は、受信機を充電器にセットした時にクリアされます。

便利な使い方

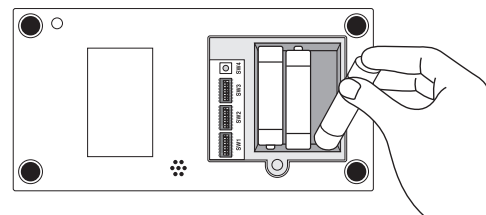
送信機を乾電池で使用する

リプライコールの送信機は乾電池での使用にも対応しています(単三乾電池3本使用(同梱))。乾電池でも約2日間使用できますが、使用時間をより長く延ばすための低消費電力機能をご用意しています。

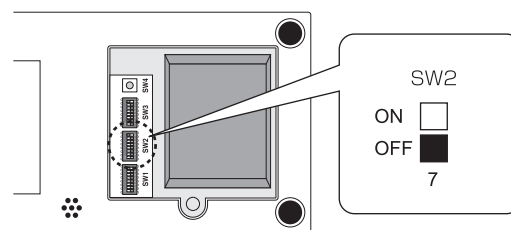
1 ビスを外して裏板を外します。



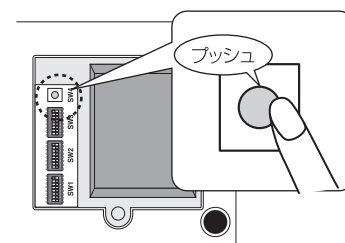
2 単三乾電池3本を向きに注意して装着します。



3 ディップスイッチの設定を変更します。
ディップスイッチSW2で変更します。
SW2の7番スイッチを上げてONにします。



4 希望する設定にスイッチが設定されたことを確認し、リセットボタンを押して設定を登録します。
※変更した設定を有効にするために必ずリセットボタンを押してください。
※電源ONの状態でもリセットしてください。



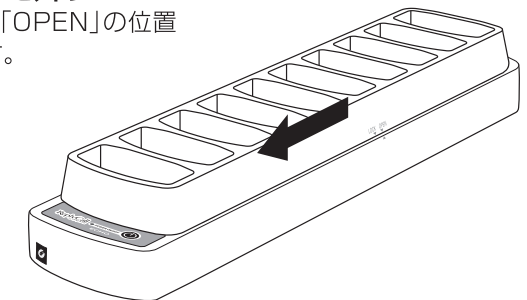
POINT

- 低消費電力機能を使用した場合は、一定時間キー操作が無いと低消費電力モードへ自動的に移行し、電源OFFとなります。受信機を呼び出す場合には、再度電源スイッチを押してONにする必要があります。
- 低消費電力昨日の状態でご設定の変更作業をする場合、必ず電源をONにしてリセットボタンを押してください。
- ACアダプタを使用する場合は、電池を取り外してください。液漏れなどによる故障の原因

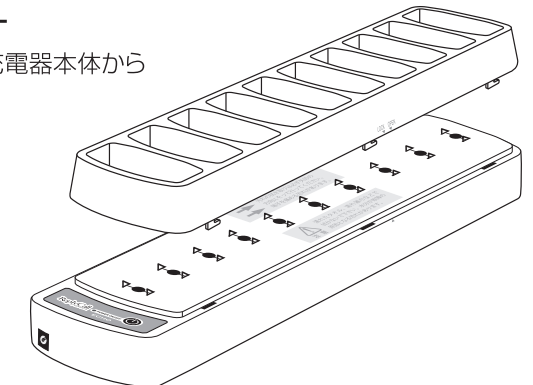
充電器のお手入れ方法

受信機収納スペースにホコリなどが溜まりますと、充電不良の原因になることがあります。お手数ではありますが定期的に清掃することをおすすめします。

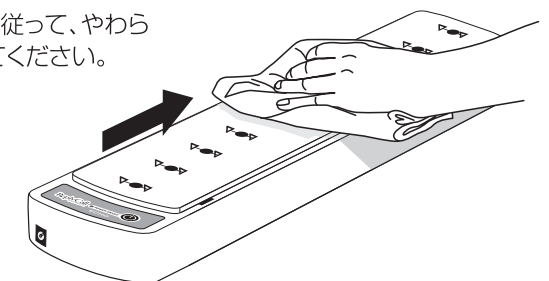
1 受信機収納スペースのロックを外す
受信機収納スペース横のロックを「OPEN」の位置までスライドさせ、ロックを外します。



2 受信機収納スペースを取り外す
受信機収納スペースを持ち上げて、充電器本体から取り外します。



3 汚れを拭き取る
充電器本体に記された矢印の方向に従って、やわらかい乾いた布などで汚れを拭き取ってください。



ご注意

- 必ず矢印の方向に従って拭き取りを行ってください。方向を間違えると充電端子を痛めることがあります。
- 濡れたタオルや濡れた雑巾などで拭かないでください。水分が故障の原因となる場合があります。

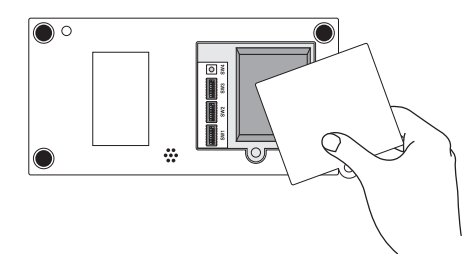
送信機の機能を設定する

チャンネル番号の変更

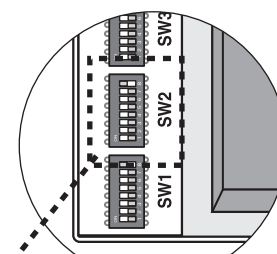
送信機のチャンネルは20(1～20)チャンネルの中から自由に設定/変更することができます。設定はディップスイッチにて行います。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

※通常はチャンネルを変更する必要はありません。送信機と受信機のチャンネル番号は同じである必要があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

1 ビスを外して裏板を外します。



2 チャンネルをディップスイッチで設定します。



3 工場出荷時には、1チャンネルに設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

0チャンネル設定は1チャンネルとして設定、表示されます。

チャンネル設定一覧

チャンネルを
設定する

ON OFF

1 2 3 4 5 6 7 8

SW2

チャイム音の
有効/無効を設定する

低消費電力機能の
有効/無効を設定する

圏外表示機能の
有効/無効を設定する

チャンネルを
設定する

① ② ④ ⑧ ⑬

1 2 3 4 5

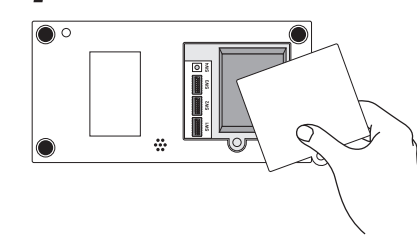
0チャンネル	1チャンネル	2チャンネル	3チャンネル	4チャンネル
ON OFF 1 2 3 4 5	ON OFF 1 2 3 4 5	ON OFF 1 2 3 4 5	ON OFF 1 2 3 4 5	ON OFF 1 2 3 4 5
5チャンネル	6チャンネル	7チャンネル	8チャンネル	9チャンネル
ON OFF 1 2 3 4 5	ON OFF 1 2 3 4 5	ON OFF 1 2 3 4 5	ON OFF 1 2 3 4 5	ON OFF 1 2 3 4 5
10チャンネル	11チャンネル	12チャンネル	13チャンネル	14チャンネル
ON OFF 1 2 3 4 5	ON OFF 1 2 3 4 5	ON OFF 1 2 3 4 5	ON OFF 1 2 3 4 5	ON OFF 1 2 3 4 5
15チャンネル	16チャンネル	17チャンネル	18チャンネル	19チャンネル
ON OFF 1 2 3 4 5	ON OFF 1 2 3 4 5	ON OFF 1 2 3 4 5	ON OFF 1 2 3 4 5	ON OFF 1 2 3 4 5
20チャンネル				
ON OFF 1 2 3 4 5				

チャンネルを変更する場合は、受信機も同じチャンネルに変更する必要があります。変更した設定を有効にするために必ずリセットボタンを押してください。

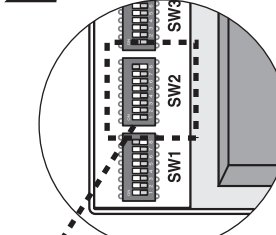
チャイム音の有効/無効

送信機のチャイム音を有効/無効にする設定が行えます。設定はディップスイッチにて行います。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

1 ビスを外して裏板を外します。



2 チャイム音の有効/無効をディップスイッチで設定します。



3 工場出荷時には有効に設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

チャイム音の有効/無効設定

チャンネルを
設定する

ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8

SW2

チャイム音の
有効/無効を設定する

低消費電力機能の
有効/無効を設定する

圏外表示機能の
有効/無効を設定する

チャイム音の
有効/無効を設定する

有効にする 無効にする

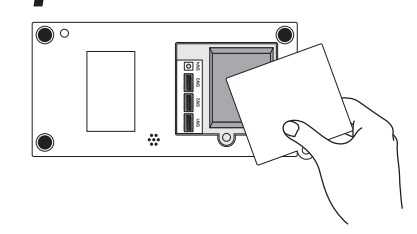
ON OFF 6 6

変更した設定を有効にするために必ずリセットボタンを押してください。

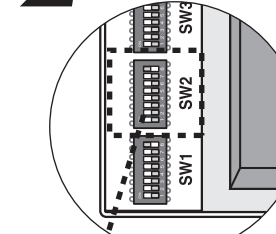
低消費電力機能の有効/無効

送信機の低消費電力機能を有効/無効にする設定が行えます。設定はディップスイッチにて行います。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

1 ビスを外して裏板を外します。



2 低消費電力機能の有効/無効をディップスイッチで設定します。



3 工場出荷時には無効に設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

低消費電力機能の有効/無効設定

チャンネルを
設定する

ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8

SW2

チャイム音の
有効/無効を設定する

低消費電力機能の
有効/無効を設定する

圏外表示機能の
有効/無効を設定する

低消費電力機能の
有効/無効を設定する

有効にする 無効にする

ON OFF 7 7

変更した設定を有効にするために必ずリセットボタンを押してください。

送信機の機能を設定する

圏外表示機能の有効/無効

送信機の圏外表示機能を有効/無効にする設定が行えます。設定はディップスイッチにて行います。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

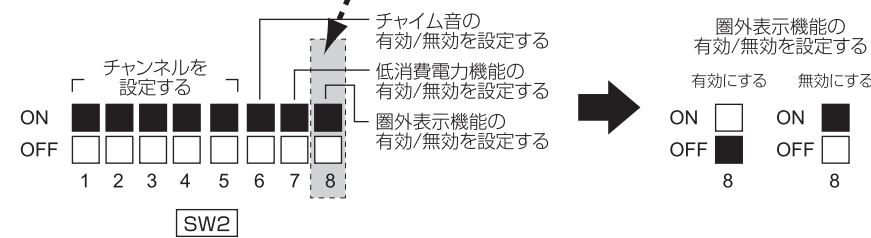
- 1

ビスを外して裏板を外します。
- 2

圏外表示機能の有効/無効をディップスイッチで設定します。
- 3

工場出荷時には有効に設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

圏外表示機能の有効/無効設定



変更した設定を有効にするために必ずリセットボタンを押してください。

チャイム音量の設定

送信機のチャイム音量の設定が行えます。設定はディップスイッチにて行います。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

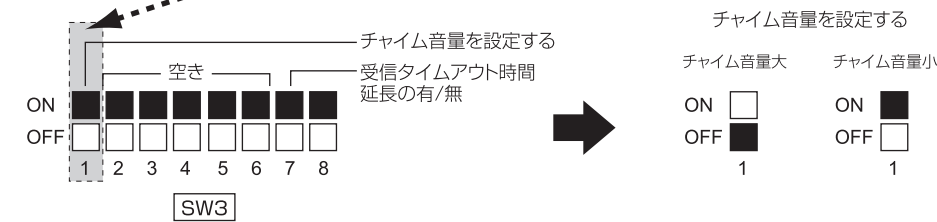
- 1

ビスを外して裏板を外します。
- 2

チャイム音量の大/小をディップスイッチで設定します。
- 3

工場出荷時には大に設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

チャイム音の有効/無効設定



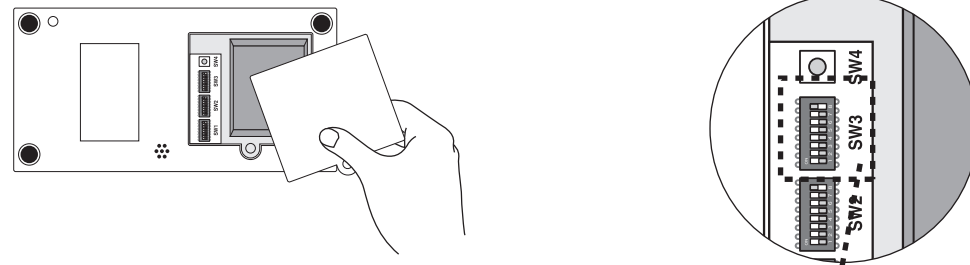
変更した設定を有効にするために必ずリセットボタンを押してください。

送信機の機能を設定する

受信タイムアウト時間の延長設定

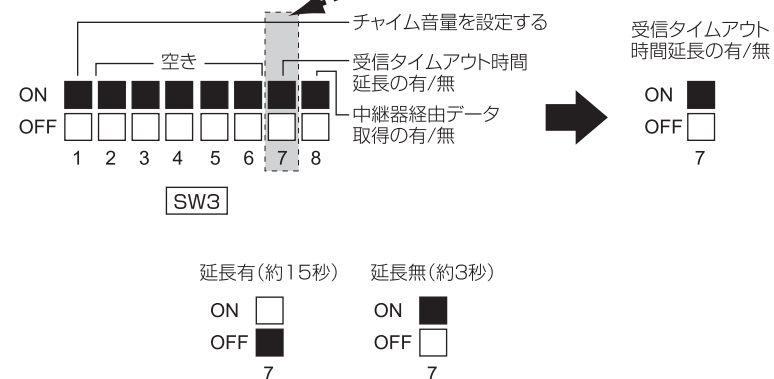
送信機の受信確認機能のタイムアウト時間・延長の有/無を設定できます。設定はディップスイッチにて行います。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

- 1 ビスを外して裏板を外します。
- 2 受信タイムアウト時間・延長の有/無をディップスイッチで設定します。



- 3 工場出荷時には受信タイムアウト時間延長無し(OFF)に設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

受信タイムアウト時間・延長の有/無の設定



変更した設定を有効にするために必ずリセットボタンを押してください。

※受信タイムアウト時の異常音・LED点滅表示は通常約3秒で作動、延長有効時は約15秒で作動します。
 ※延長を有効にすると、圏内確認信号の送信間隔(ドット点滅)が通常約10秒から約20秒に変わります。
 ※中継機を使用してエリア拡大又は通信距離の遠い箇所からの返信時間を考慮した機能です。

MEMO

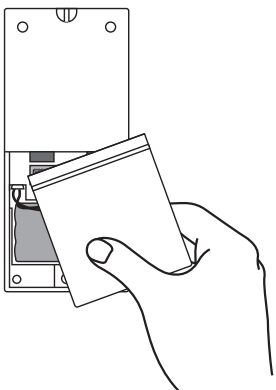
受信機の機能を設定する

受信機番号の変更

受信機番号は1～99まで自由に設定/変更することができます。設定はディップスイッチにて行います。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

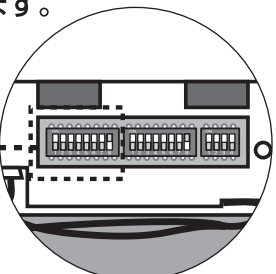
1

ビスを外して裏板を外します。



2

受信機番号をディップスイッチで設定します。



ご注意

2台以上の受信機に同じ番号を設定するとトラブルの原因となりますので、同じ番号を設定しないようご注意ください。

受信機番号設定一覧

0番設定は1番として設定、表示されます。

1の位を設定する

10の位を設定する

各位の和が受信機番号となります (1～9を設定します)。

SW1

受信機番号0	受信機番号1	受信機番号2	受信機番号3	受信機番号4
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8
受信機番号5	受信機番号6	受信機番号7	受信機番号8	受信機番号9
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8
受信機番号10	受信機番号11	受信機番号12	受信機番号13	受信機番号14
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8
受信機番号15	受信機番号16	受信機番号17	受信機番号18	受信機番号19
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8
受信機番号20	受信機番号21	受信機番号22	受信機番号23	受信機番号24
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8
受信機番号25	受信機番号26	受信機番号27	受信機番号28	受信機番号29
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8

受信機番号30	受信機番号31	受信機番号32	受信機番号33	受信機番号34
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8
受信機番号35	受信機番号36	受信機番号37	受信機番号38	受信機番号39
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8
受信機番号40	受信機番号41	受信機番号42	受信機番号43	受信機番号44
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8
受信機番号45	受信機番号46	受信機番号47	受信機番号48	受信機番号49
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8
受信機番号50	受信機番号51	受信機番号52	受信機番号53	受信機番号54
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8
受信機番号55	受信機番号56	受信機番号57	受信機番号58	受信機番号59
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8
受信機番号60	受信機番号61	受信機番号62	受信機番号63	受信機番号64
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8
受信機番号65	受信機番号66	受信機番号67	受信機番号68	受信機番号69
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8
受信機番号70	受信機番号71	受信機番号72	受信機番号73	受信機番号74
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8
受信機番号75	受信機番号76	受信機番号77	受信機番号78	受信機番号79
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8
受信機番号80	受信機番号81	受信機番号82	受信機番号83	受信機番号84
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8
受信機番号85	受信機番号86	受信機番号87	受信機番号88	受信機番号89
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8
受信機番号90	受信機番号91	受信機番号92	受信機番号93	受信機番号94
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8
受信機番号95	受信機番号96	受信機番号97	受信機番号98	受信機番号99
ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8	ON OFF 1 2 3 4 5 6 7 8

受信機の機能を設定する

チャンネル番号の変更

受信機のチャンネルは20(1～20)チャンネルの中から自由に設定/変更することができます。設定はディップスイッチにて行います。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

※通常はチャンネルを変更する必要はありません。送信機と受信機のチャンネル番号は同じである必要があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

1

ビスを外して裏板を外します。

2

チャンネルをディップスイッチで設定します。

3

工場出荷時には、1チャンネルに設定されています。必要に応じて設定を変更してください。
送信機の裏面にチャンネルシールが貼ってあります。

チャンネル設定一覧

0チャンネル設定は1チャンネルとして表示・設定されます

チャンネルを設定する

ON

OFF

1 2 3 4 5

6 7 8

SW2

チャイム音の有効/無効を設定する

バイブレーション機能の有効/無効を設定する

圏外表示機能の有効/無効を設定する

チャンネルを設定する

① ② ④ ⑧ ⑬

1 2 3 4 5

0チャンネル

1チャンネル

2チャンネル

3チャンネル

4チャンネル

5チャンネル

6チャンネル

7チャンネル

8チャンネル

9チャンネル

10チャンネル

11チャンネル

12チャンネル

13チャンネル

14チャンネル

15チャンネル

16チャンネル

17チャンネル

18チャンネル

19チャンネル

20チャンネル

チャンネルを変更する場合は、受信機も同じチャンネルに変更する必要があります。
変更した設定を有効にするために、必ず待受状態でリセットボタンを押してください。

チャイム音およびバイブレーション機能の有効/無効

受信機のチャイム音およびバイブレーション機能を有効/無効にする設定が行えます。設定はディップスイッチにて行います。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

1

ビスを外して裏板を外します。

2

チャイム音の有効/無効をディップスイッチで設定します。

3

工場出荷時にはチャイム音は有効、バイブレーション機能は有効に設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

チャイム音およびバイブレーション機能の有効/無効設定

チャンネルを設定する

ON

OFF

1 2 3 4 5

6 7 8

SW2

チャイム音の有効/無効を設定する

バイブレーション機能の有効/無効を設定する

圏外表示機能の有効/無効を設定する

チャイム音の有効/無効を設定する

ON

OFF

6 7

チャイム音有効 + バイブレーション機能有効

チャイム音有効 + バイブレーション機能無効

チャイム音無効 + バイブレーション機能有効

チャイム音無効 + バイブレーション機能無効

ON

OFF

6 7

ON

OFF

6 7

ON

OFF

6 7

ON

OFF

6 7

変更した設定を有効にするために、必ず待受状態でリセットボタンを押してください。

受信機の機能を設定する

圏外表示機能の有効/無効

受信機の圏外表示機能を有効/無効にする設定が行えます。設定はディップスイッチにて行います。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

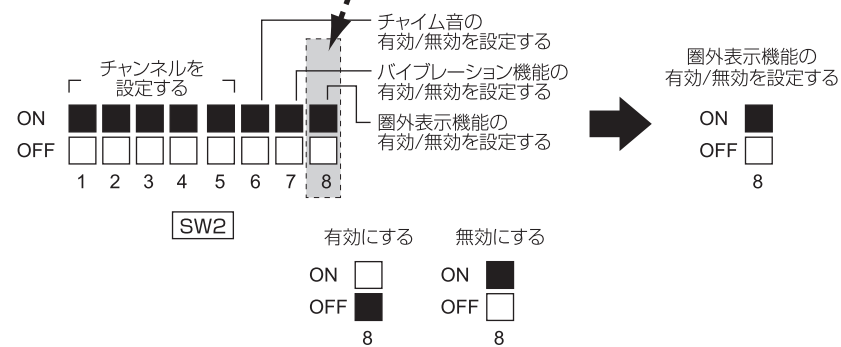
- 1

ビスを外して裏板を外します。
- 2

圏外表示機能の有効/無効をディップスイッチで設定します。
- 3

工場出荷時には有効に設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

圏外表示機能の有効/無効設定



変更した設定を有効にするために、必ず待受状態でリセットボタンを押してください。

チャイム音量の設定

受信機のチャイム音量の設定が行えます。設定はディップスイッチにて行います。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

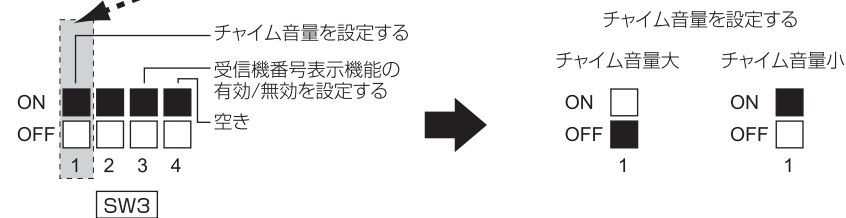
- 1

ビスを外して裏板を外します。
- 2

チャイム音の有効/無効をディップスイッチで設定します。
- 3

工場出荷時には大に設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

チャイム音量およびチャイム音種の設定一覧



変更した設定を有効にするために、必ず待受状態でリセットボタンを押してください。

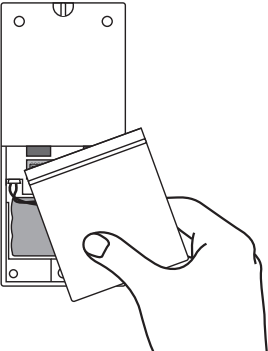
受信機の機能を設定する

受信機番号表示機能の有効/無効設定

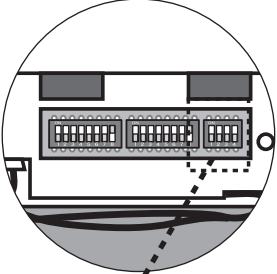
受信機の受信機番号表示機能を有効/無効にする設定が行えます。設定はディップスイッチにて行います。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。
無効に設定しますと送信機番号表示に変更されます。(P9参照)

- 1

ビスを外して裏板を外します。

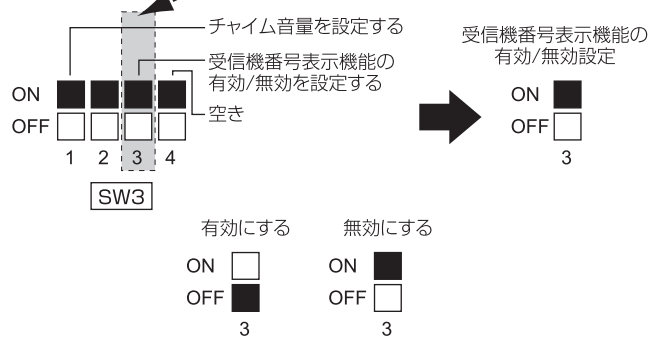

- 2

受信機番号表示機能の有効/無効をディップスイッチで設定します。


- 3

工場出荷時には受信機番号表示機能は有効(ON)に設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

受信機番号表示機能の有効/無効設定



変更した設定を有効にするために、必ず待受状態でリセットボタンを押してください。

お手入れ方法

警告 感電の恐れがありますのでお手入れの前には電源プラグを抜いてください。

お手入れ

- 汚れが気になる場合には固く絞った柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどい場合には、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、固く絞った柔らかい布でよく拭いてください。
(特に冬場には静電気の影響でホコリが付きやすくなる場合があります)

警告 火災や感電の恐れがありますので、製品や電源プラグ部に水や洗剤をかけないでください。

警告 ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどの使用は、プラスチックを傷めますのでやめてください(プラスチックが割れてケガをする恐れがあります)

故障かなと思ったら

- 10キーを押しても、番号表示窓に何も表示されない。
 - 送信機とACアダプタが接続されており、かつACアダプタがコンセントに差し込まれているか確認してください。
 - 乾電池を使用している場合は、乾電池を新しいものに取り替えてみてください。
- 送信機で呼び出してもいないのに受信機が正常に作動する。
 - 近くで同機種(リプライコール)の同チャンネルの店舗がありませんか？
チャンネル設定の変更が必要です。設定変更は送信機・受信機の両方で行います。(P15・P23参照)

問題が解決しない場合には販売店にご相談ください。

仕様

■送信機

型 式	RE-100
サ イ ズ	170(W)×85(D)×40(H)mm
重 量	約200g
電 源	100V DC6Vアダプタ 単三アルカリ乾電池使用可能(3本)
周 波 数	426.025～426.1375MHz 特定小電力
チ ャ ン ネ ル	20チャンネル
到 達 距 離	約100m
送 信	受信機99台対応
	受信確認機能有り
	送信不可通知機能有り
	0 + コール
消 費 電 力	約3W(ピーク時)

■受信機

型 式	RE-200
サ イ ズ	51(W)×116(D)×19(H)mm
重 量	約100g(電池/バック含む)
電 源	ニッケル水素充電電池
周 波 数	426.025～426.1375MHz 特定小電力
チ ャ ン ネ ル	20チャンネル
動 作	受信LED・7セグLED・電子音・バイブレーション
	受信音量2段切替有り
	送信機番号表示(99台)可能
	約0℃でバイブレーション作動不可
	圏外表示機能有り
電 池 残 量 確 認	約12時間(圏内時、フル充電時)
連 続 待 受 時 間	赤色LEDの点灯/点滅速度で表示
ア ン テ ナ	内蔵式

■充電機

型 式	RE-305	RE-310
サ イ ズ	79(W)×165(D)×54(H)mm	79(W)×290(D)×54(H)mm
重 量	約400g	約550g
電 源	100V DC6Vアダプタ	
充 電 時 間	約6時間	
方 式	接点充電	
	収納部セパレート式(掃除可能)	
消 費 電 力	約12W(ピーク時)	約24W(ピーク時)